

令和3年度 評価計画及び自己評価(案)

(計画・中間・最終)

警固屋中学校区 校番 10 学校名 警固屋小学校

<p>a 学校教育目標</p> <p>「自分を創る」 ～地域を愛し、自ら学ぶ心豊かで 力強く未来を拓いていく「警固屋っ子」の育成～</p>	<p>b 経営理念 ミッション・ビジョン</p>	<p>〈ミッション〉 (学校の使命)</p> <p>小中一貫教育を通して、未来への展望を持ち「自他の幸せを目指し、自立し貢献できる人間」の根っこを育てる。</p> <p>〈ビジョン〉 (将来の学校像)</p> <p>学園 ・子どもの夢や希望を生み出し、実現させる学園 ・地域・社会に貢献する実践的行動力のある学園</p>
---	------------------------------	--

<p>c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点</p>	<p>【現状(○成果●課題)】</p> <p>○小中一貫教育を推進する組織体制が確立し、小学校と中学校の一体的な学園運営が軌道に乗っており、「主体的・対話的で深い学びの場」の構築を一体的に目指している。</p> <p>○教科の本質を追究した「深い学び」につながる授業作りに向けて学園全体で意識的な取組を進めている。</p> <p>○地域における学園の存在意義を教職員・児童生徒・保護者が共有し、地域と一体となって学校教育目標「自分を創る」を目指している。</p> <p>○業務改善を意識し児童生徒と向き合う時間を確保できた。</p> <p>●各学力調査において、指標とする評価テストの目標値に達していない学年がある。個々の数値にも開きがある。</p> <p>●学力調査や公立高等学校入試選抜(Ⅱ)を見据えた(読み取る、説明する、書く力の向上等)を系統的に進める必要がある。</p> <p>●児童生徒の実態を踏まえ、生活習慣・学習習慣の改善に取り組む必要がある。</p> <p>上記の現状より、次の5点を今年度の重点とする。</p> <p>①小中一貫教育校としての系統性を大切にする組織の充実 ②未来に貢献する「自分を創る」(資質・能力を育む)主体的な学びの場を構築 ③誰もが安全で安心して学べる教育環境の確保 ④健康で生きがいをもって生涯を生き抜く生活習慣の基盤づくり</p> <p>⑤警固屋地域において「地域の力を学校へ」から、「地域に感謝を抱く小学生の心」の育成と地域貢献を中心に「中学生の力を地域へ」の推進</p>
-------------------------------------	--

育成すべき資質・能力 知識・技能(知識及び技能) 思考力・判断力・表現力(思考力、判断力、表現力等) 主体性、協働性(学びに向かう力、人間性)

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・2・③年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値	9月			2月		
						i 達成度	j 達成度	k 評価	i 達成度	j 達成度	k 評価
★★★	未来に貢献できる「自分を創る」資質・能力を育む「主体的で対話的で深い学びの場」を構築する。 <b>責</b>	○「考える授業」づくりを進め、児童生徒の学力を高める。	・思考場面に効果的な思考スキルや協働的な学習活動を取り入れた学びの工夫	広島県児童生徒学習意識等調査の課題発見・解決学習に係る項目の22, 24, 25, 26の肯定的評価の割合(平均)(教師アンケート)	85% (85%)						
○児童生徒に達成感、充実感を味わわせ、自信を持たせる。		・基礎学力を向上させるための個に応じた指導	評価テストの通過率(国語, 算数)	80%							
		・読書習慣の確立(朝読書時間や家庭読書の充実)	1か月に読書貯金目標ページ数を読み切る児童の割合	80%							
★★	児童, 生徒, 保護者, 地域との絆を深め、だれもが安心・安全な環境で学べる学校風土を醸成する。 <b>責</b>	○地域の課題を考え、地域に貢献する児童生徒を育成する。	・各教科等や地域行事における地域との交流の推進	広島県児童生徒学習意識等調査の課題発見・解決学習に係る項目の30, 31の肯定的評価の割合(平均)(教師アンケート)	85% (85%)						
		・防災教育の充実	児童アンケートにおいて、「安全に生活しようとしている」等の肯定的評価の割合	90%							
		○社会的スキル及び生活習慣の習得	・社会性が見られる挨拶・返事の徹底 ・生活習慣の確立	あいさつ、睡眠についての児童アンケートの肯定的評価の割合。(教師及び保護者アンケート)	80% (80%) 80% (70%)						
		○いじめを許さない学校風土をつくる。	・特別の教科道徳の計画的な実施 ・いじめの早期発見・早期対応に向けた組織体制の確立	児童アンケートにおいて、「①友達のことを考えて行動できる」「②まわりの人から認められている」「③学校は楽しい」の肯定的評価の割合	① 80% ② 80% ③ 95%						
★	教職員が自らの意欲と能力を発揮できる教育環境の整備 <b>責</b>	○在校等時間の縮減	・退庁時間の目標設定	時間外勤務が月45時間以内の教職員の割合	70%						
		○児童生徒と向き合う時間の確保	・主任を中心としたチーム力の向上と行事や業務の見直し	児童生徒と向き合う時間が確保されていると感じる教員の割合	85%						

【k:評価】

A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100 C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60